



新スタッフ紹介

科学館で新たにサイエンスショー、プラネタリウムを担当するスタッフが入りましたので、以下に紹介いたします。

学芸員補助スタッフとしてお世話になることになりました、奥出恵子(おくでけいこ)と申します。科学館ではサイエンスガイドとして6年間活動させていただいていました(今年の5月に任期満了で卒業することができました)。また、ボランティアスタッフの科学デモンストレーターとして月に数回、サイエンスショーコーナーで実験ショーをさせていただいた経験もあります。もっとサイエンスショーをしたい。もっとたくさん学びたいという思いで補助スタッフに応募しました。



大阪市立科学館のサイエンスショーの大好きなところは「なぜ?」にきちんと答えてくれることです。びっくりするような不思議な現象があって、それがなぜそうなるのかを目の前の実験で教えてくれる、おもしろいなあ、科学ってすごいなあと思う。そんな私自身が感じる面白さや楽しさをお客様にも伝えられるようになりたいと思っています。知識も経験もまだまだです。新しい演示をさせて頂くときは、中学や高校の教科書にもどって基本を復習するところから始めることもあります。学芸員の方々に色々教えていただきながら頑張っていきたいと思います。これからもよろしくお願ひ致します。

奥出 恵子(学芸員補助スタッフ)

はじめまして。竹中萌美(たけなかめぐみ)と申します。私は小さいころに望遠鏡で土星の輪っかを見た時の感動が忘れられなくて、星が大好きになりました。星空を見ていると、地球という宇宙船にのって宇宙を旅しているようで、とってもわくわくします。将来は学芸員として、私が小さいころに土星に連れて行ってもらったように、お客様と星空に遊びに行くことが夢です。プラネタリウム補助スタッフは、私の夢への大きな一歩なのです。投影の時はもちろん、毎日わくわくしながら星を見えています。デビューしてからは、学芸員の方にアドバイスをいただいて、毎回の投影で試行錯誤を繰り返しています。まだまだ解説員として未熟ではありますが、少しでもこのわくわくを、プラネタリウムに来て下さった皆様と共有していきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。



竹中 萌美(学芸員補助スタッフ)